

## 第5次 美保関地区地域福祉活動計画

美保関地区社会福祉協議会

美保関地区社会福祉協議会  
第5次地域福祉活動計画について

地域福祉活動計画は、社会福祉協議会が呼び掛けて、住民、地域において社会福祉に関する活動を行う者、社会福祉の推進を目的とする事業（福祉サービス）を経営する者が相互に協力して策定する、地域福祉の推進を目的とした民間の活動・行動計画です。

この度、平成30年度にて策定委員会を設置し、前回計画の振り返りやアンケート調査など実施し話し合いを進め、この度第5次計画としてまとめました。

今回の第5次計画の内容は、基本的に前回計画を引き継ぐ内容で策定しました。

基本目標は、少子高齢化を逆手にとって「ぬくもり」と「うるおい」を感じ、であい・ふれあい・たすけあい 健康長寿のまち美保関。

住民一人1学習（あたまの健康）・1スポーツ（からだの健康）・1ボランティア（こころの健康）を目指すとしています。

具体的な内容としては、絵にかいたモチとなるといけませんので、私達に出来ることを中心として、見守り活動、地域間・世代間等の交流、こころとからだの健康づくり、ボランティア活動、広報活動を柱に様々な活動を展開していきます。また、地区社協内で委員会を設け、進捗管理や計画の見直し、修正、そして実行のサイクルを回しより良い地域福祉活動に繋げていきます。

この計画の遂行は、自治会を中心に各種団体や事業所等の皆様が手を取り合い協力いただくことで進めることが出来るものと思います。ご理解とご支援をいただきますようお願いいたします。

美保関地区社会福祉協議会  
会長 日野 隆道

第3次活動計画の振り返り（平成26年度～30年度） まとめ

評価 ◎十分にできている ○まあまあできている  
 △あまりできていない ×できていない

活動計画				評価と成果及び課題		
基本目標	活動名	重点	具体的取組内容	評価	成果・課題	
(1) 身近な地域でニーズに気づき、必要な支援に結び付ける活動の推進・充実	一人暮らし、高齢者、障がい者等への定期的な声かけ訪問の実施	○	地区ごとに決めた頻度で定期的に訪問をする。	○	全体の把握は出来ていないが、研修会での意見交換から地区によって定期的な訪問活動している様子が伺えた。28年度に千酌地区をモデル的に民生委員・福祉推進員・包括合同による訪問を実施した。	
			福祉サービスや地域の情報を得るための研修会を実施する。	○	民生児童委員・福祉推進員合同研修会にて情報交換を実施。要配慮者支援事業、日常生活支援総合事業など研修会をおこなった。美保関地区内の先進事例として発表をしていただき活動に生かしていただくよう研修を行なった。	
			訪問時に記録をつけて集約する。（記録用紙）	○	記録の集約について検討してきたが実施に至っていない。千酌地区合同訪問を実施、研修会にて報告した。包括支援センターとの合同訪問を希望する地区あり。	
			情報共有の機会を設ける。	◎	民生児童委員・福祉推進員合同研修会を年2回実施 福祉に関する研修と情報交換会を実施	
			・地区ごとに自治会や自主防災隊などと連絡会を持つ。 ・要援護者見守り活動が円滑になるよう民生児童委員・福祉推進員が連携する。	○	民生児童委員・福祉推進員合同研修会にて自治会長にも参加してもらい事例発表、情報交換を実施。先進的取組をしている地区の発表を聞き、活動の立上げの参考にした地区もあった。	
	なごやか寄り合い事業の推進と充実	○	自治会などになごやか寄り合いへの理解と協力を求め、参加の声掛けとスタッフの充実を図る。	○	自治会総会への活動報告でPRした。 なごやかスタッフ研修にて、先進事例発表を実施し、継続のために何をすべきか考える機会をもった。 自治会へなごやか寄り合いへの協力を依頼していく。	
			スタッフ会での研修会・情報交換会などを通して課題解決を図る。	◎	なごやか寄り合い事業代表者及びスタッフ会を実施 合わせて情報交換会を実施。 なごやか会の活動に取り入れていただける内容などの情報提供を行なった。	
	幼児・児童・生徒への「セフティ愛の見守り活動」			広報を活用して、各地区での活動を周知する。	○	民生児童委員、福祉推進員に見守りベストを配布し活動時に着用している。 社協だよりへ活動記事掲載←出来ていない。
	防災・災害支援体制の整備	○	・研修会、情報交換会を実施する。 ・要援護者見守り活動が円滑になるよう民生児童委員・福祉推進員が連携する。	○	民生児童委員・福祉推進員合同研修会にて自治会長にも参加してもらった。 要配慮者支援事業の研修や美保関地区内の先進事例発表、情報交換など行なった。	
	住民ニーズの把握			各団体の会合などで活動に対する意見交換をする。	○	情報交換会にて地域の情報を得ている。 必要に応じて会合などの折に情報交換の機会を持つ。
世代間交流事業の推進			学校と地域の交流事業の実施。	○	各なごやか寄り合いや高齢者クラブ等で交流を行なっている。 マリンハートフェスタに協賛	

活動計画				評価と成果及び課題		
基本目標	活動名	重点	具体的取組内容	評価	成果・課題	
進い城（ ・ての2） 充学課 実習題住 すや民 る健が 活康主 動問体	自分の健康状態を知る	○	誘い合わせて健診を受ける。	◎	健診受診率 H21 39.9%、H22 38%、H23 42.1%、H24 41.4% H25 47.9%、H26 52.9% H27 52.1%、H28 52.85%、H29 53.41%（松江市全体H29 49.96%）	
			健康まつえ21推進隊によるPR活動を行う。	◎	ポスター、チラシの配布でPRを実施 告知端末を使い小学生アナウンスによる啓発を実施	
	こころとからだの健康講座			障がい者への理解を深める講座を実施する。	△	講座の実施はしていない。 にじの家まつりで住民参加し交流を図っている。
				認知症に関する講座を実施する。	○	各なごやか寄り合いや公民館で認知症予防の講座を実施した。

の題的 推につ地	健康講座	疾病予防のための講座を実施する。	○	健康予防講座やウォーキングを実施した。
		健康づくりのための講座を実施する。	◎	健康予防講座やウォーキングを実施した。
動ン(3) の推イ 充進ア 実活ラ	ボランティア活動の推進	見守り活動を通して、困りごとなどの実態を把握する。	△	地区社協として全体の把握は出来ていない。
		ボランティア活動の機能や内容等を検討する。	△	地区社協として全体の把握は出来ていない。 H29年度実績 日常生活支援総合事業 1団体(笹子地区)実施 まめなかポイント制度 19団体登録
(4) 各関係機関 の強化 の団体等との ネットワーク	民生児童委員と福祉推進員の連絡・調整	定期的に研修会・情報交換会を実施する。	○	民生児童委員・福祉推進員合同研修会年2回実施 合わせて情報交換会実施。 参加する地区に偏りがある。全地域から参加をしていただきたい。
	地域の福祉団体等、関係機関との連絡調整	各団体の会合などで活動のPRと協力依頼を行う。	○	自治会総会、福祉推進員の会総会にてPRと協力依頼実施
	市社会福祉協議会、行政、自治会、公民館、地区社会福祉協議会の密接な連携	平常時から情報共有を図る。	○	必要に応じ関係者で情報交換を行なった。
	なごやか寄り合いを拠点とした福祉活動の推進	各地区の状況に合わせて支援をする。	◎	なごやか寄り合い事業代表者及びスタッフ会を2回実施 出前講座の提案をし、それぞれ取組んでいただいた。 まめなかポイント事業への参加をお願いした。(19団体登録)
	福祉推進員の機能強化	意見交換会、研修会を開催する。	◎	民生児童委員・福祉推進員合同研修会2回実施。 合わせて情報交換会実施。 福祉推進員先進地視察を実施。 市社協主催の各種研修会に参加。
地区社会福祉協議会役員会等の定期的開催	企画委員会の開催。 理事会の定期的開催。 役員の研修。	○	企画委員会、理事会を開催 役員研修については市社協主催の研修に参加した。	
周福(5) 知社協 と民協 保財へ議地 源の会区 のの社 確の住会	みほのせき地区社会福祉協議会だより等の発行	タイムリーな記事の掲載や発行回数を増やすなど広報の充実を図る。	◎	社協だより年3回発行 なごやか寄り合い活動や社協の活動を報告。
	地区社会福祉協議会活動財源の確保	安定した活動財源確保のため地区会費などの充実を図る。	○	自治会総会にて協力依頼。 年度ごとに、少なくなっている。 理解をし協力を依頼する。

その他、策定委員からの意見

- ・計画に内容の重複があるので、次回の計画は整理しスッキリと。
- ・ボランティア活動の推進充実について評価を高める取組をする。
- ・なごやか寄り合い会のバージョンアップを図る。(子ども食堂、ご近所食堂の様な)
- ・なごやか会と観光が連携できると良い。
- ・要配慮者支援事業が機能していない地区もある。民生児童委員、福祉推進員も入っての組織づくりが必要。  
(広報配布の時に声かけや、役を降りてからも協力員として活動を継続など、小さい活動から)

- ・福祉推進員の活動を住民に周知する。(どのような活動をしているか知らない)
- ・社協会費がどのように使われているか、分かり易く周知し財源確保につなげる。

第5次美保関地区地域福祉活動計画 実施計画表

(令和元年度～令和5年度)

基本目標

～少子高齢化を逆手にとって「ぬくもり」と「うるおい」を感じ、であい・ふれあい・たすけあい 健康長寿のまち美保関～  
 住民一人1学習（あたまの健康）・1スポーツ（からだの健康）・1ボランティア活動（こころの健康）を目指す。

活動名	期待する効果	活動目標	具体的取組内容	実施・協力団体	財源	令和1年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	
見守り活動	住民一人ひとりが安心して暮らせる街になる。	住民へ福祉サービスや地域の情報提供をする。	専門職と連携して訪問活動を全区で展開する。	地区社協 民生児童委員・福祉推進員 市社協・包括支援センター 保健師・自治会	地区社協	計画 実施 評価	→				
			民生児童委員・福祉推進員合同研修会を年2回実施する。	地区社協 民生児童委員・福祉推進員 市社協・包括支援センター 保健師・自治会	地区社協	計画 実施	→				
		見守り活動での気づきや要望を記録し、今後の活動に生かす仕組みを作る。	訪問時に記録をつけて集約する。（記録用紙）	地区社協 民生児童委員・福祉推進員 市社協・包括支援センター 保健師・自治会	地区社協	計画 実施 集約	評価 見直し 実施 集約	→			
		幼児・児童・生徒・高齢者・障がい者等弱者の見守りを継続していけるよう支援する。	『セイフティ愛の声かけ隊』ベストを着用し登下校時、訪問等の見守りを行う。	地区社協 民生児童委員・福祉推進員 ボランティア・自治会	地区社協	実施	→				
なごやか寄り合い事業の推進と充実	介護予防・疾病予防につながる。生活にうるおいをもたらす。	誰もが参加しやすいなごやか寄り合い会づくりと継続できるように支援する。	出前講座を実施する。 出前講師など活用できる情報をまとめ提供する。	地区社協 自治会 なごやか寄り合い会	地区社協 参加費	検討 実施	→				
		スタッフが無理なくお世話を継続していけるよう支援する。	スタッフ会を年2回実施し、研修会・情報交換会などを通して課題解決をする。	地区社協 自治会 なごやか寄り合い会	地区社協 参加費	検討 実施	→				
交流事業の推進	世代を超えて住民同士がつながりあえる地域になる。	世代間の交流を活発に行う。	学校と地域の交流をする。	地区社協・公民館 保育所、小学校、中学校 高齢者クラブ・なごやか寄り合い会 地域住民・ボランティア	地区社協	検討 実施	→				
	こどもが安心して暮らせる地域になる。	誰でも集える居場所をつくる。子どもたちが安心して過ごせる居場所を地域につくる。	学校帰りや休日に誰もが集えて、交流できる居場所を地域内につくる。（地域の大人も子育てに関わる）	地区社協・公民館 保育所・小学校・中学校 PTA・自治会 地域住民・ボランティア	地区社協 参加費	検討 立上げ 1箇所	立上げ 1箇所	立上げ 1箇所	立上げ 1箇所	立上げ 1箇所	
	安心して子育てできる地域になる。	子育てに対して必要な支援を行う。	乳幼児教室（すくのびサロン）を年5回程度実施する。	地区社協・公民館 子育て支援センター 保健師・民生児童委員 主任児童委員・母子保健推進員・福祉推進員・地域住民	地区社協 参加費	検討 実施	→				
	集落を超えたつながりを持つことで、防災や助け合いに活かせる。	5年間で全区が相互交流できる関係をつくる。地域の良さを見直し後世に伝える。	なごやか会の相互交流をはじめ自治会交流を実施する。	地区社協・公民館 保育所・小学校・中学校 PTA・自治会・なごやか寄り合い会 地域住民	地区社協 自治会 なごやか会	検討 実施	→				

※ 美保関地区社会福祉協議会 企画委員会は第2層地域支え合い協議体を兼ねる。都度、計画のふり返りと見直しを行う。

活動名	期待する効果	活動目標	具体的取組内容	実施・協力団体	財源	令和1年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
自分の健康状態を知る。	住民一人ひとりの健康に対する意識を向上させる。	健診受診者の増加を目指す。	誘い合わせて健診を受ける	地域住民 健康まつえ21推進隊 民生児童委員・福祉推進員・自治会	地区社協	受診	→			
			健康まつえ21推進隊によるPR活動を行う。	地区社協 健康まつえ21推進隊	地区社協	実施	→			
こころとからだの健康講座	障がいについて理解することが出来る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>みんなが暮らしやすい地域をつくる為の学習をする。</li> <li>自分の健康づくりに役立つ学習をする。</li> </ul>	障がい者への理解を深める講座を全自治会で年1回以上実施する。	地区社協・公民館・市社協 地域住民・保健師・包括支援センター 健康まつえ21推進隊 なごやか寄合い会 自治会・障がい福祉サービス事業所	地区社協 公民館 参加費	検討実施	→			
	認知症について理解することが出来る。		認知症に関する講座を全自治会で年1回以上実施する。 (認知症サポーター講座等)	地区社協・公民館・市社協 地域住民・保健師・包括支援センター 健康まつえ21推進隊 なごやか寄合い会 自治会	地区社協 公民館 参加費	検討実施	→			
	疾病・罹患の確率を減らすことが出来る。		疾病予防のための講座を全自治会で年1回以上実施する。	地区社協・公民館・市社協 地域住民・保健師・包括支援センター 健康まつえ21推進隊 なごやか寄合い会 自治会	地区社協 公民館 参加費	検討実施	→			
	住民一人ひとりが健康を実感することが出来る。		健康づくりのための講座を全自治会で年1回以上を実施する。	地区社協・公民館・市社協 地域住民・保健師・包括支援センター 健康まつえ21推進隊 なごやか寄合い会 自治会	地区社協 公民館 参加費	検討実施	→			
	障がい者の社会参加を促進することが出来る。		在宅の障がい者と家族が疾病予防の為の学習の場や仲間づくり、介護者に必要な情報交換をする場を提供する。	疾病予防や仲間づくり等の学習会を年3回以上実施する。	地区社協・公民館・市社協 保健師・包括支援センター・地域住民 障がい福祉サービス事業所	地区社協 公民館 参加費	検討実施	→		
ボランティア活動の推進	互助・共助により日常生活の困りごとを住民自ら解決できるようになる。	生活上の困りごとを住民参加で解決する。	ボランティア組織を立ち上げる。	地区社協 ボランティア	地区社協 利用料金 助成金	調査 検討	立上げ 実施 1箇所	立上げ 実施 1箇所	立上げ 実施 1箇所	立上げ 実施 1箇所
	住民の移送ニーズを把握し、住民一人ひとりが現状の課題を把握できるようになる。		コミュニティバスの利用促進をする。 生活実態に則したニーズを把握して、足りないところを要望へとつなげる。	地区社協 地域住民	地区社協	ニーズ調査 把握 利用促進	→			
広報活動	地区社会福祉協議会や各種福祉活動への理解を深めることが出来る。	地区社協事業のみえる化を図り、地域住民の協力を得る。	地区社協だよりを定期発行する。 タイムリーな記事の掲載等広報の充実を図る。 各種会合等で直接伝える。	地区社協	地区社協	検討 実施	→			

# 資料

高齢者アンケート まとめ

高齢者クラブ、なごやか寄り合い会参加者に生活上の困りごとについてアンケートを実施しました。

(年齢50代～90代 回答者数825名)

1. 日頃の暮らしで困っていることについてお聞きします。

各質問の選択肢で当てはまるものを選んでください。

○現状の困り具合はどうか？

		回答数			回答数
1.買い物のこと	困っている	35	6.動物のこと	困っている	341
	将来が心配	503		将来が心配	160
	特に心配なし	251		特に心配なし	239
	未記入	36		未記入	91
2.通院のこと	困っている	48	7.空き家のこと	困っている	101
	将来が心配	554		将来が心配	405
	特に心配なし	190		特に心配なし	240
	未記入	33		未記入	79
3.草刈、雪かき、 墓掃除など家の周りのこと	困っている	94	8.災害のこと	困っている	60
	将来が心配	497		将来が心配	507
	特に心配なし	196		特に心配なし	121
	未記入	38		未記入	128
4.移動のこと	困っている	42	9.地域の行事のこと	困っている	88
	将来が心配	544		将来が心配	413
	特に心配なし	187		特に心配なし	183
	未記入	52		未記入	141
5.道路のこと	困っている	60			
	将来が心配	377			
	特に心配なし	298			
	未記入	84			

※ 全体的に、将来への不安が伺える。特に移動手段について多めの意見があった。



○こうなると良いなと思うことは何ですか？

		回答数
買い物のこと	近くにお店ができるとよい	218
	注文した品物を配達してほしい	118
	移動販売車が自宅の近くに来てほしい	226
通院のこと	誰かに送迎してもらいたい	178
	コミュニティバスで移動したい	250
	医師や薬剤師に訪問してほしい	126
草刈、雪かき、墓掃除など家の周りのこと	家族や知人など親しい人に頼みたい	192
	ワンコインサービスなどに頼みたい	203
	地域のボランティアに頼みたい	135
移動のこと	家族や知人など親しい人に送迎してもらいたい	143
	コミュニティバスが便利になるとよい	380
道路のこと	歩道や手すり、街灯を整備してほしい	258
	シニアカーなどを安価に利用したい	114
	危険な場所は付き添いをしてほしい	31
動物のこと	イノシシなどの害獣の対策をして欲しい	400
	農作物の被害を防ぐ手立てを講じて欲しい	110
	野良犬・野良猫の対策をして欲しい	239
	世話ができなくなった時にペットを引き取って欲しい	25
空き家のこと	空き家の防犯対策をして欲しい	189
	空き家を活用してほしい（地域の居場所や住居としての利用）	228
災害のこと	避難するときに声かけ・付き添いをして欲しい	147
	防災訓練をして欲しい	53
	歩いて行ける場所に緊急避難所を作って欲しい	359
地域の行事のこと	地域の若い人に関わって欲しい	280
	ボランティアに手伝って欲しい	78
	行事の数を少なくして欲しい	162

※ 移動、動物、災害について対策を望む声が多い。

2. 若者や子どもたちにどんな美保関を作って欲しいと思いますか？  
特に思うもの2つを選んでください。

	回答数
(1)地域の皆が元気で明るい美保関	259
(2)住民同士が助け合える美保関	300
(3)子どもの地域活動が盛んな美保関	96
(4)伝統行事を大切にする美保関	71
(5)自然を大切にする美保関	66
(6)災害への対策がしっかり行われている美保関	228
(7)高齢者が暮らしやすい美保関	336

3. 将来かなうと嬉しいことはどれですか？  
選択肢の中から特になうと嬉しいこと3つを選んでください。

ジャンル	内容	回答数
ひと	U・Iターンの受入	33
	若者や子供が増える	62
生活	近所にスーパーやコンビニができる	74
	移動販売車がやってくる	45
	祭事がいつまでも続く	30
	買い物補助、医療補助の組織ができる	52
	荒地の整理、畑の活用	37
	まちの便利屋	45
交流	助け合いのできる地区	45
	高齢者の移動手段を確保する	102
	催し物に全員参加	7
	川柳の里を作る	2
	遊び場ができると良い	29
	子どもの居場所づくり	12
	なごやか会	54
	体力づくりの場	35
	世代間交流、地域間交流	33
	婚活イベント	12

ジャンル	内容	回答数
交通	公共交通機関の便利が良くなる	65
	バスの便数が増える	29
	歩道ができる	26
	道路が広くなる	32
	買い物・病院行バスがあると良い	135
	自治会専用バス	30
	機能別タクシー	28
産業・経済	海を活かした事業を興す	13
	企業の誘致	11
	海水浴客の増加	3
	特産品のブランド化	6
	高齢者の収入になる独自産業の起業	44
	漁業の活性化	14
	農地の集団経営	7
	再生可能エネルギー施設	17
	自然を利用したテーマパーク	27
	レジャー施設	18
	災害時の助け合い体制	117
安全・安心	ゴミのない町・マナーアップ	41
	山の木の剪定	49
	害獣対策	82

※ 移動手段の確保に多数の意見があった。

## その他 自由記述の意見

### 買物のことについて

地域の店を活発に（片江）、衣類・薬などの店があるとよい（片江）  
既存の店を大切に（片江）、今ある店を残してほしい（片江・複数）  
店はあるが、品数をもっと増やしてほしい（片江）、コンビニ希望（七類）  
コミュニティバスで移動できると良い（笠浦）

### 通院のことについて

目が悪くて乗換ができない、信号も見えない  
半島の日本海側に医院がない（七類）  
病院への直行便（片江・複数）、地区に診療所があればよい（片江）  
境港行のバスがあればよい（七類）、コミバスがタクシー並みに使えると良い（七類）  
病院の近くまで連れて行ってほしい（笠浦）

### 家の周りのことについて

家族がいなくて困っている、せめて市道の除雪は市で（万原）  
すぐに相談できる場所が近くにあるといい（片江）  
荒地の草刈りをして欲しい（片江）、川辺の草刈りを市でして欲しい（片江）  
シルバー人材センターに依頼する（片江）、他人の家の草刈りをしている（片江）  
有償ボランティア（七類）、道路の雪かきをして欲しい（七類）

### 移動のことについて

一畑バスは運賃が高すぎる、町外へ行ってほしい（コミュニティバス）  
松江（橋北）だけでも行ってほしい、松江市内まで路線を伸ばしてほしい  
（コミュニティバス）  
道が狭いため車が入らない（七類）、福祉タクシーの整備（森山）  
老人用の割引チケットの導入（片江）  
乗換なしで町まで行けるようにして欲しい（片江）（コミュニティバス）  
タクシーが格安で利用できるとよい（七類）、バス停が近くなると良い（七類）  
乗合タクシー（七類）

### 道路のことについて

車が多く、横断しにくい、家の近辺に車の通る道路がない（七類）  
病気や足が悪い時、駐車場入れに苦労する（七類）  
せまい道路でのスピードの出しすぎ、車が多くて困っている（七類）  
七類トンネルの整備（片江）、横道の整備（片江）、私道を共有にしてもらえない（片江）  
車が入ればよい（七類）、災害・緊急時の自動車走行路の整備（七類）  
県道は車の大型化、スピード化で高齢者は危険、早くバイパスが必要（七類）

### 動物のことについて

- 今はまだいいが、人口が減るとイノシシ増に困る（万原）
- 動物の住居への侵入（笠浦）、野良猫に餌を与えている人がいる（七類）
- 飼い猫は外に出さないようにしてほしい（七類）、野良猫に餌を与えないでほしい（七類）

### 空き家のことについて

- 跡継ぎが県外にいるのでどうなるか不安、古い家が残っていてどうしようもない  
大事にしてもらって何もいう事はありません。
- 近所に空き家がある（笠浦）
- 解体に多額の費用がかかる（道路の状況に左右される）（七類）
- 危険なものは撤去してほしい（森山）、解体してほしい（片江・笠浦）
- 若者が住みたいと思うようにしてほしい（片江）
- 屋根瓦の落下、雨覆板の飛来防止（片江・七類）
- 空き家を市が買い取り、市民の為になるようなものにしてほしい（笠浦）

### 災害のことについて

- 家の前に大きな木があって倒れないか心配
- 避難場所がない（七類）
- 裏山の木が大きくなり、台風などにより枝が折れて屋根に落ちてきそう。整備をして欲しい（片江・複数）
- 避難場所までの道の整備（森山・片江）
- 津波・高潮災害に備えた避難所の確保（七類）

### 地域の行事のことについて

- 行事の質を落としてほしくない、省かないでほしい  
(行事に) 参加できない（七類）
- 皆と一緒に行動ができなくなってきた（片江）
- 今はボランティアをしているが、次世代の人を作りたい（片江）
- 有償ボランティア（七類）
- 地域でも身近なところでアウトドア経験をする（七類）
- 行事をなくしてほしい（笠浦）
- 新年早々の行事は勤め人にとっては問題あり（笠浦）

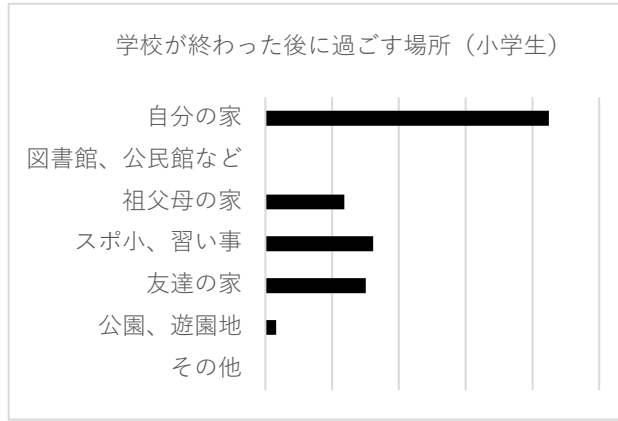
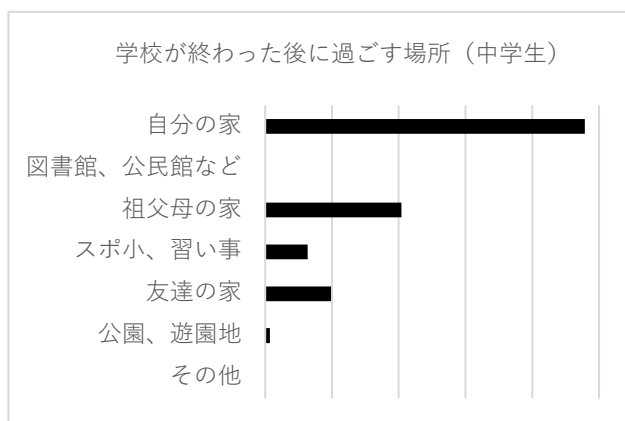
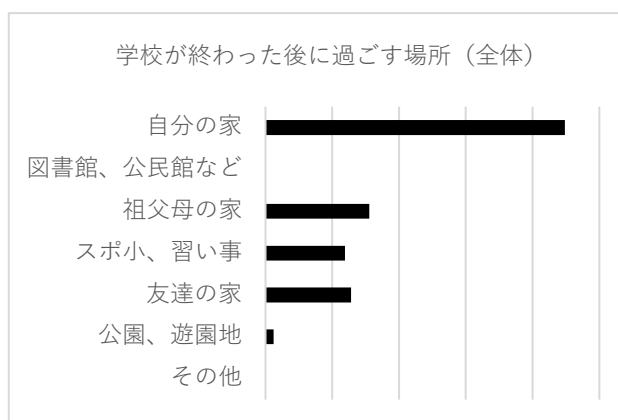
# 美保関地区第5次地域福祉活動計画策定 小中学生向けアンケート集計

## ■ 回答者属性（学年、男女比）

学年	男	女	未	計
4年生	16	9	0	25
5年生	18	11	0	29
6年生	18	18	3	39
中学1年	12	18	0	30
中学2年	5	8	0	13
中学3年	13	15	0	28
合計	82	79	3	164

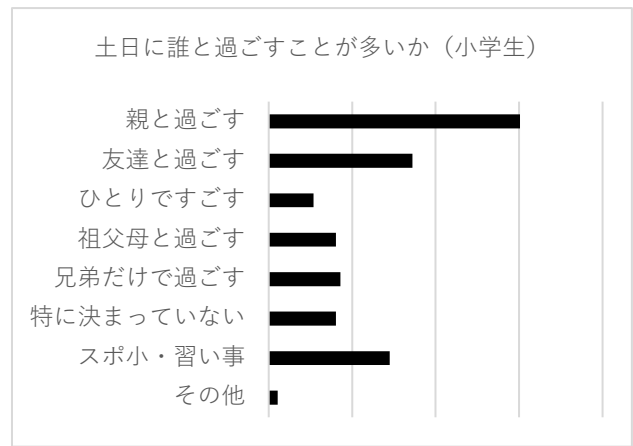
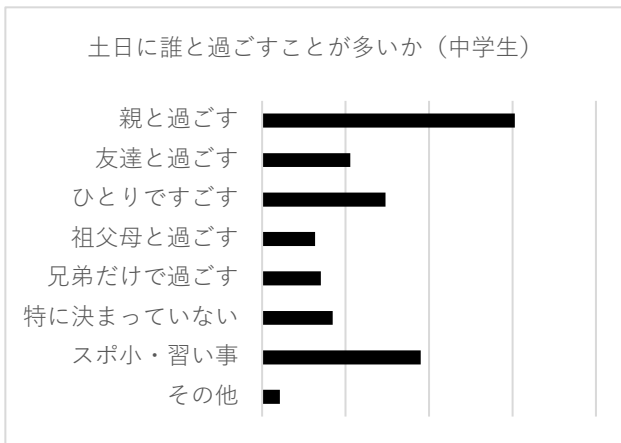
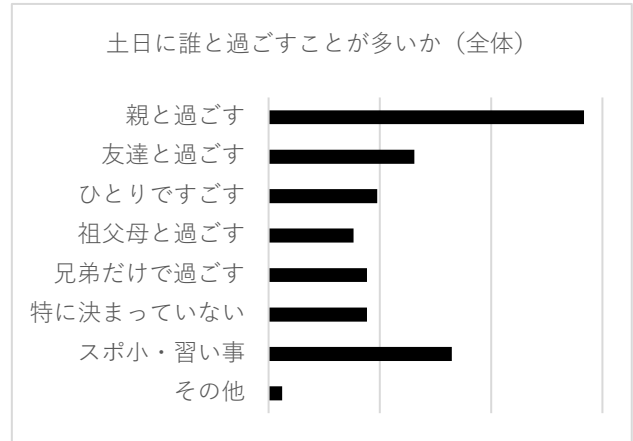
## Q1. 学校が終わったあと、どこで過ごすことが多いですか（複数回答）

	小学生	中学生	全体
自分の家	97%	96%	96%
図書館、公民館など	0%	0%	0%
祖母、祖父の家	24%	41%	31%
スポ小、習い事	32%	13%	24%
友達の家	30%	20%	26%
公園、遊園地など	3%	1%	2%
その他	0%	0%	0%



## Q2. 土日に誰と過ごすことが多いですか（複数回答）

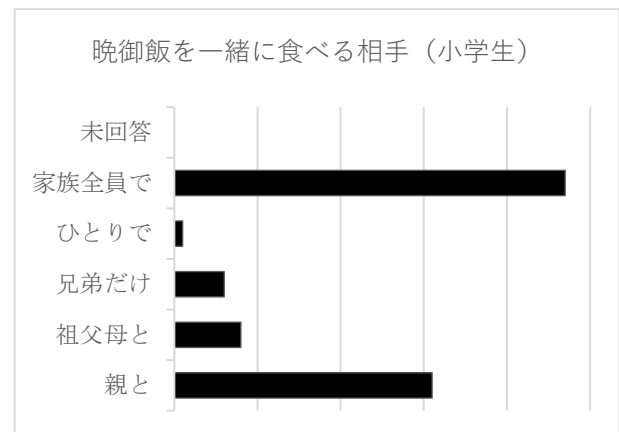
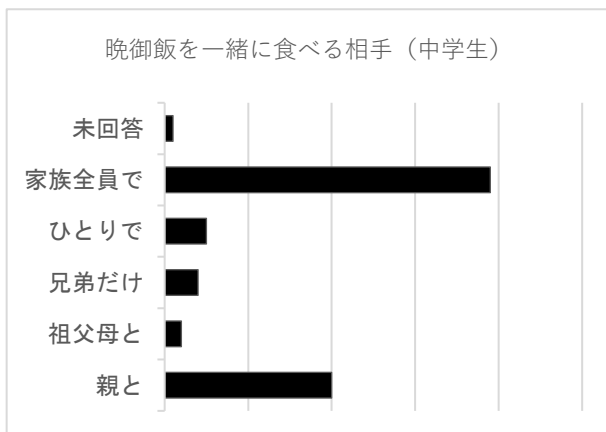
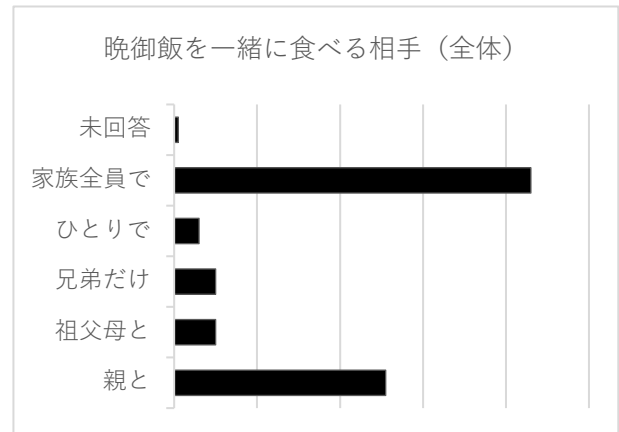
	小学生	中学生	全体
親	60%	61%	57%
友達	34%	21%	26%
ひとり	11%	30%	20%
祖父、祖母	16%	13%	15%
兄弟	17%	14%	18%
決まっていない	16%	17%	18%
スポ小	29%	38%	33%
その他	2%	4%	2%



## Q3. 晩御飯は誰と食べる人が多いですか

	小学生	中学生	全体
親と	33%	28%	31%
祖父、祖母と	9%	3%	6%
兄弟だけ	6%	6%	6%
ひとり	1%	7%	4%
家族全員で	51%	55%	52%
未回答	0%	1%	1%

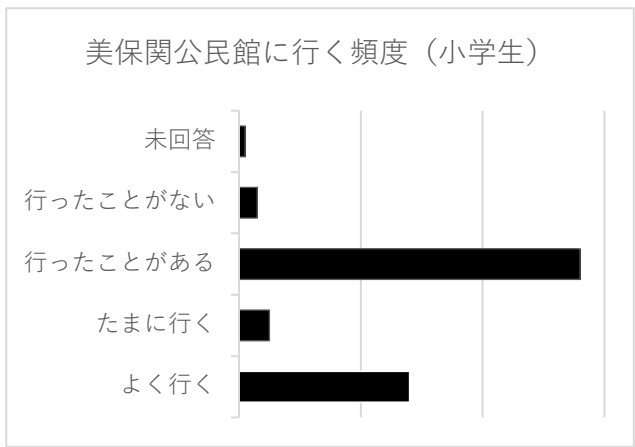
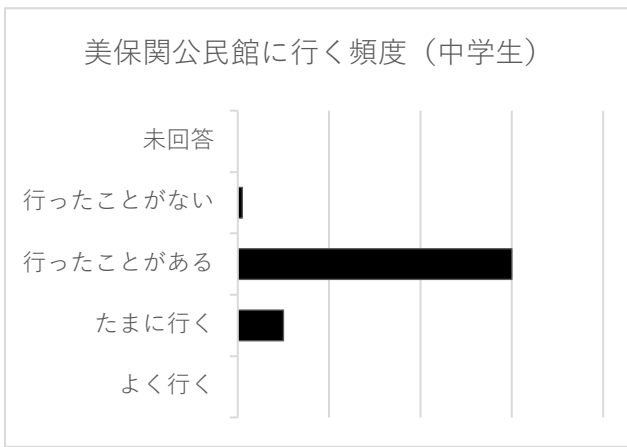
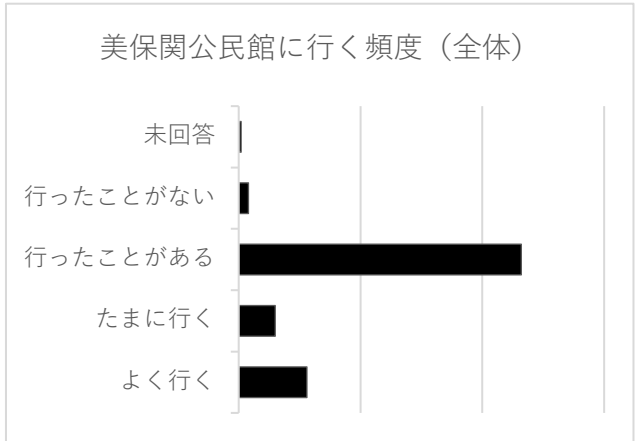
（※小数点以下四捨五入）



### Q4. 美保関公民館に行ったことはありますか

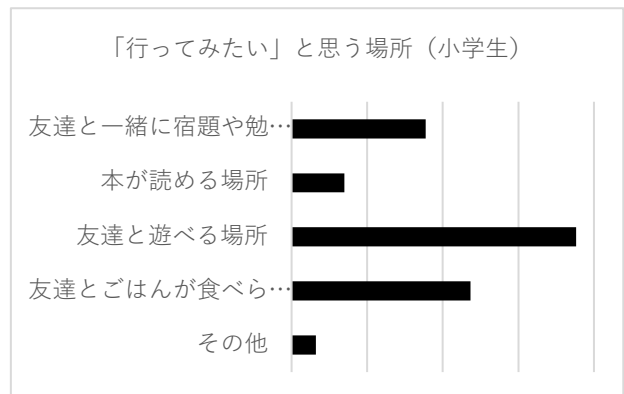
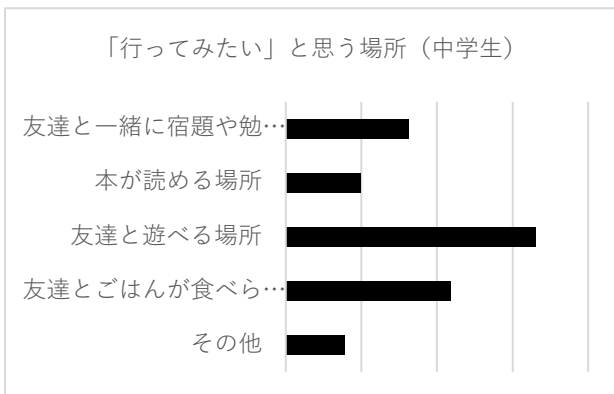
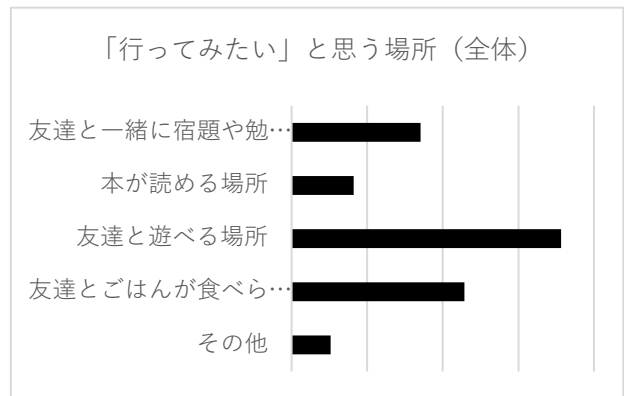
	小学生	中学生	全体
よく行く	30%	0%	17%
たまに行く	5%	14%	9%
行ったことがある	60%	85%	71%
行ったことがない	3%	1%	2%
未回答	1%	0%	1%

(※小数点以下四捨五入)



### Q5. どんなところに行ってみたいですか (複数回答)

	小学生	中学生	全体
友達と宿題や勉強	35%	32%	34%
本が読める	14%	20%	16%
友達と遊べる	75%	66%	71%
友達とごはん	47%	44%	46%
その他	6%	15%	10%





「その他」の意見：

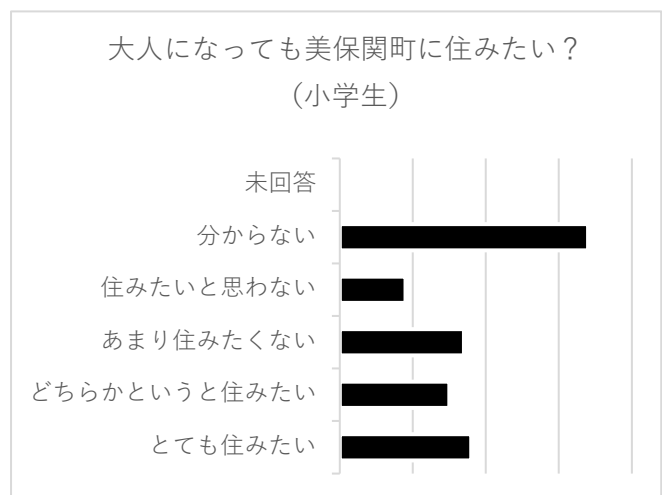
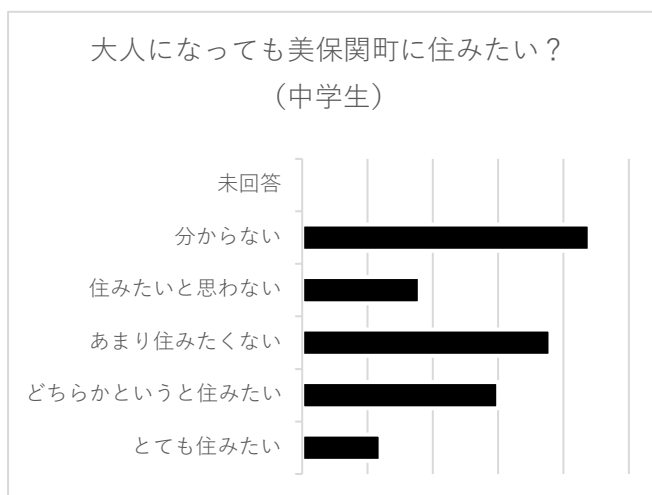
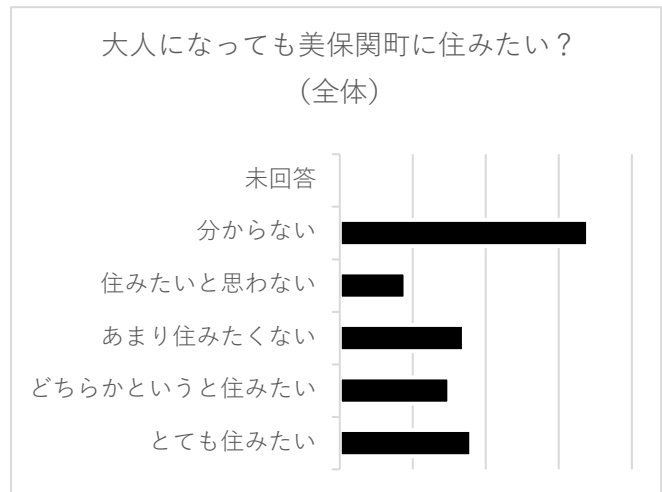
(中学生) サッカー場、アニメショップ、自分の家、ゲームセンター、一人でゆっくりできるところ、本屋  
特にない

(小学生) 友達と料理ができる場所、ホームランドーム、友達と遊べるサッカー場、友達と遊べる野球場

## Q6. 将来、美保関町に住みたいと思いますか

	小学生	中学生	全体
住みたい	19%	8%	15%
どちらかといえば住みたい	16%	21%	18%
あまり住みたくない	18%	27%	22%
住みたくない	10%	13%	11%
分からない	37%	31%	34%
未回答	0%	0%	0%

(※小数点以下四捨五入)



## 美保関に住みたい理由・住みたくない理由

### ◆とても住みたい・住みたいと答えた人

自然が豊か・海がキレイ・家族や友人がいる・住んでいる人が優しい・住みやすい、落ち着く

### ◆あまり住みたくない・住みたくないと答えた人

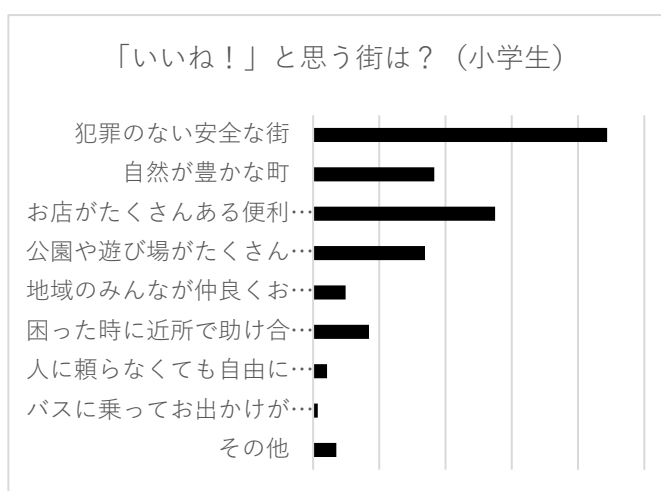
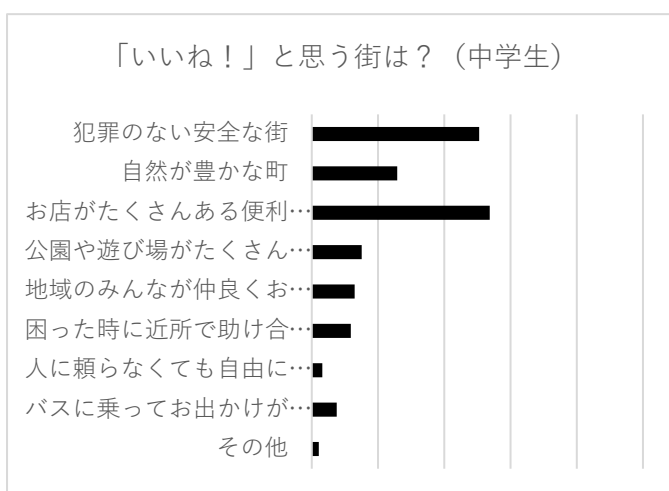
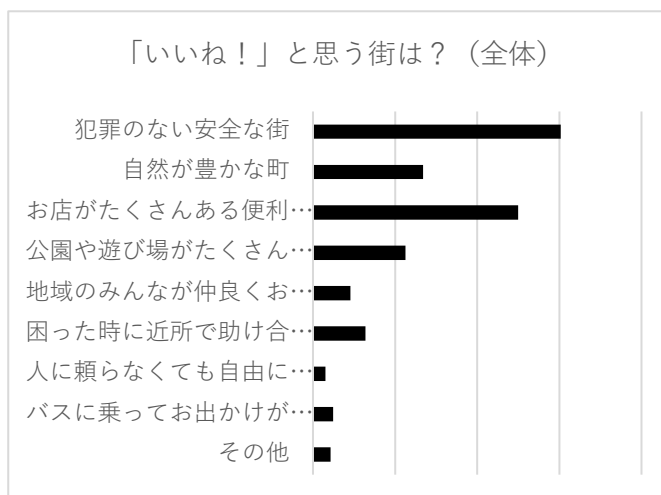
都会で暮らしてみたい・お店や遊べる場所が少ない・交通が不便

### ◆分からないと答えた人の理由

まだ正直分からない・将来の事をまだ決めていない・就職、進学状況による・ほかの地域にも住んでみたい

## Q7. いいね！と思う街はどんな街ですか（複数回答）

	小学生	中学生	全体
犯罪のない安全な街	89%	51%	60%
自然が豊かな街	37%	26%	27%
お店がたくさんある	55%	54%	50%
公園や遊び場	34%	15%	23%
地域みんなが仲良し	10%	13%	9%
困ったときの助け合い	17%	12%	13%
自由に暮らせる	4%	3%	3%
バスに乗ってお出かけ	1%	8%	5%
その他	7%	2%	4%



### 「その他」の意見

（中学生）近くにお店が一つはある町、

（小学生）東京のスカイツリーのある町、危険な動物がいない町、お菓子（売り物）すべて0円のお店だけの町、災害がない町、

## Q8. 将来の夢

将来の夢 TOP3	
中学生	小学生
1位 わからない、まだ決めていない	1位 わからない、まだ決めていない
2位 安定した仕事	2位 サッカー選手
3位 保育士（子どもに関わる仕事）	3位 看護師